



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月17日

上場会社名 アークランドサカモト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (C O O) (氏名) 坂本 雅俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志田 光明 TEL 0256-33-6000
 四半期報告書提出予定日 2019年9月27日 配当支払開始予定日 2019年10月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績 (2019年2月21日～2019年8月20日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	56,437	1.8	5,217	△4.0	5,602	△4.1	2,900	△13.4
2019年2月期第2四半期	55,448	3.3	5,435	4.4	5,841	5.2	3,348	7.3

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 2,956百万円 (△14.4%) 2019年2月期第2四半期 3,453百万円 (13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	71.53	—
2019年2月期第2四半期	82.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	104,073	81,003	69.2	1,776.35
2019年2月期	97,069	78,991	72.6	1,738.48

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 72,044百万円 2019年2月期 70,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年2月期	—	15.00	—	—	—
2020年2月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年2月21日～2020年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	4.6	10,000	1.0	11,000	3.3	5,800	1.9	143.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年2月期2Q	41,381,686株	2019年2月期	41,381,686株
2020年2月期2Q	823,983株	2019年2月期	823,948株
2020年2月期2Q	40,557,712株	2019年2月期2Q	40,557,738株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年2月21日から2019年8月20日まで）におけるわが国経済は、企業収益の底堅い推移や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調にあるものの、世界経済においては、米中間の深刻化する貿易摩擦、英国のEU離脱問題や日韓関係悪化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力であるホームセンター業界におきましても、消費税率引き上げを控え消費者マインドの慎重化や異業種を含めた販売競争の激化により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は564億37百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は52億17百万円（前年同期比4.0%減）、経常利益は56億2百万円（前年同期比4.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、29億円（前年同期比13.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<小売事業>

ホームセンター部門の売上高は318億7百万円（前年同期比2.4%減）となりました。2月の住デポ新発田店、7月のニコペット京都八幡店及び8月のホームセンタームサシ久喜菖蒲店・ニコペット久喜菖蒲店のオープンが寄与した一方で、前期2月にホームセンタームサシ新発田コモ店及び住デポ厚木店が閉店したこと、既存店が4月の低温や7月の夏到来の遅れによる影響等で、前年同期比4.0%減になったことによるものです。

その他小売部門の売上高は前期7月の食品館新潟西店のオープンが寄与したことにより、34億95百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

その結果、小売事業の売上高は353億3百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は新店オープンによる販管費の増加等により20億55百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

<卸売事業>

卸売事業の売上高は37億93百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は減収により3億56百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」（国内・海外）のFC含む店舗数が純増10店舗の442店舗、「からやま」・「からあげ縁」も純増5店舗の99店舗となるなど、積極的な事業展開により、売上高は159億1百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は21億77百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は14億39百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は6億17百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して70億3百万円増加し、1,040億73百万円となりました。これは主に投資有価証券が13億7百万円減少したこと及び新店のオープン等に伴い流動資産が34億15百万円、有形固定資産が46億92百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して49億91百万円増加し、230億69百万円となりました。これは主に新店のオープンに伴い買掛金が17億32百万円、短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して20億11百万円増加し、810億3百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことによるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して3億97百万円増加し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額52百万円と合わせ、188億5百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、41億46百万円（前年同期は61億10百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益54億96百万円、仕入債務の増加額17億3百万円、法人税等の支払額19億28百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、43億86百万円（前年同期は16億33百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出47億61百万円、関係会社株式の売却による収入4億61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、6億45百万円(前年同期は9億6百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純増額14億12百万円、配当金の支払額6億8百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績につきましては、2019年3月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,354	18,814
受取手形及び売掛金	3,778	4,322
商品及び製品	11,594	13,482
その他	1,340	1,864
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	35,060	38,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,084	33,930
土地	13,101	13,393
その他(純額)	1,902	1,457
有形固定資産合計	44,088	48,781
無形固定資産		
のれん	134	100
その他	1,877	1,865
無形固定資産合計	2,012	1,966
投資その他の資産		
投資有価証券	10,033	8,726
敷金及び保証金	4,599	4,576
その他	1,280	1,552
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	15,907	14,849
固定資産合計	62,008	65,596
資産合計	97,069	104,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,691	6,423
短期借入金	—	2,200
未払法人税等	1,996	2,064
賞与引当金	238	337
資産除去債務	3	—
その他	3,597	4,489
流動負債合計	10,527	15,515
固定負債		
社債	2,010	2,010
長期預り保証金	3,434	3,419
退職給付に係る負債	272	280
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	1,614	1,653
その他	37	9
固定負債合計	7,550	7,553
負債合計	18,077	23,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,606	6,594
利益剰余金	57,191	59,320
自己株式	△641	△641
株主資本合計	69,619	71,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	889	321
為替換算調整勘定	△0	△13
その他の包括利益累計額合計	889	307
非支配株主持分	8,482	8,958
純資産合計	78,991	81,003
負債純資産合計	97,069	104,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)
売上高	55,448	56,437
売上原価	34,453	34,544
売上総利益	20,995	21,893
販売費及び一般管理費	15,559	16,676
営業利益	5,435	5,217
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	59	96
仕入割引	158	150
持分法による投資利益	81	67
その他	113	130
営業外収益合計	418	449
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	5	52
その他	6	10
営業外費用合計	12	64
経常利益	5,841	5,602
特別利益		
テナント退店収入	27	—
店舗譲渡益	34	18
資産除去債務戻入益	—	21
その他	9	19
特別利益合計	71	59
特別損失		
固定資産除却損	23	9
店舗閉鎖損失	1	86
解体撤去費用	17	19
減損損失	—	26
その他	4	24
特別損失合計	46	165
税金等調整前四半期純利益	5,865	5,496
法人税、住民税及び事業税	1,978	1,997
法人税等調整額	△79	△37
法人税等合計	1,899	1,960
四半期純利益	3,966	3,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	617	635
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,348	2,900

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)
四半期純利益	3,966	3,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△489	△568
為替換算調整勘定	△16	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△21
その他の包括利益合計	△512	△580
四半期包括利益	3,453	2,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,845	2,338
非支配株主に係る四半期包括利益	608	617

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,865	5,496
減価償却費	1,129	1,200
のれん償却額	50	35
受取利息及び受取配当金	△64	△101
支払利息	0	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△71	△532
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△175	△1,603
仕入債務の増減額 (△は減少)	585	1,703
その他	316	△222
小計	7,638	5,977
利息及び配当金の受取額	61	98
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△1,588	△1,928
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,110	4,146
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,154	△4,761
無形固定資産の取得による支出	△11	△11
敷金及び保証金の差入による支出	△200	△130
敷金及び保証金の回収による収入	140	182
投資有価証券の取得による支出	△390	△122
関係会社株式の売却による収入	—	461
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△55
その他	△16	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,633	△4,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,412
長期借入金の返済による支出	△250	—
配当金の支払額	△608	△608
非支配株主への配当金の支払額	△114	△143
その他	65	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△906	645
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,567	397
現金及び現金同等物の期首残高	14,777	18,354
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	52
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,344	18,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年2月21日 至2018年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	35,638	3,944	14,469	1,395	55,448	—	55,448
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,759	—	559	6,318	△6,318	—
計	35,638	9,703	14,469	1,955	61,767	△6,318	55,448
セグメント利益	2,406	419	1,983	613	5,423	12	5,435

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年2月21日 至2019年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	35,303	3,793	15,901	1,439	56,437	—	56,437
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,849	—	592	6,441	△6,441	—
計	35,303	9,642	15,901	2,032	62,879	△6,441	56,437
セグメント利益	2,055	356	2,177	617	5,206	10	5,217

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)		増減		(参考) 2019年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	3,944	7.1	3,793	6.7	△151	△3.8	7,804	7.1
小売事業	35,638	64.3	35,303	62.6	△335	△0.9	68,702	62.5
ホームセンター部門	32,591	58.8	31,807	56.4	△783	△2.4	62,326	56.7
D I Y関連用品	8,896	16.1	8,743	15.5	△153	△1.7	17,626	16.0
家庭用品	10,147	18.3	9,778	17.3	△368	△3.6	20,189	18.4
カー・レジャー用品	3,896	7.0	3,760	6.7	△135	△3.5	7,309	6.6
園芸用品	9,558	17.2	9,423	16.7	△135	△1.4	16,998	15.5
その他	92	0.2	101	0.2	8	9.3	201	0.2
その他小売部門	3,047	5.5	3,495	6.2	448	14.7	6,376	5.8
外食事業	14,469	26.1	15,901	28.2	1,432	9.9	30,605	27.8
不動産事業	1,395	2.5	1,439	2.5	43	3.1	2,800	2.6
連結売上高	55,448	100.0	56,437	100.0	988	1.8	109,913	100.0